

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場会社名 日本電産サーボ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6585 URL <http://www.nidec-servo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 卓也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 坂本 博

TEL 0277-53-8817

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	14,671	△29.9	772	△37.8	814	△40.7	640	△27.3
21年3月期第3四半期	20,915	—	1,242	—	1,373	—	880	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	18.02	—
21年3月期第3四半期	24.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	18,706	8,652	46.3	243.58
21年3月期	18,168	8,414	46.3	236.83

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 8,652百万円 21年3月期 8,414百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	2.50	7.50
22年3月期	—	2.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△20.5	1,100	△6.9	1,100	3.5	800	17.6	22.52

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	35,691,838株	21年3月期	35,691,838株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	171,646株	21年3月期	164,294株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	35,524,010株	21年3月期第3四半期	35,541,055株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の低迷、雇用環境の悪化、デフレの進行により、マクロ景気の二番底到来が予想される等、依然として厳しい状況が続きました。

このような経営環境下、当社グループは、収益性の抜本的な改革を図る「WPR™ (ダブル・プロフィット・レシオ=利益率倍増) プロジェクト」を中心に、グループの総力を挙げて企業業績の改善に努めて参りました。売上高は上述の影響もあり、146億7千1百万円（前年同期比29.9%減 62億4千4百万円減）、営業利益は、7億7千2百万円となりました（前年同期比37.8%減 4億7千万円減）。営業利益につきましては、第2四半期連結会計期間以降、更なる生産性向上、固定費削減、原価低減等の活動に注力した結果、利益率が大幅に改善されております。引き続き「WPR™ プロジェクト」による筋肉質な企業体質の構築に取り組んで参ります。

事業の種類別セグメントの実績を示すと、次のとおりであります。

（モータ）

当社グループのモータ事業の売上高は、上述の影響により前年同期比54億9千7百万円減の123億8千4百万円となりました。営業利益は、前年同期比4億9千4百万円減の16億6千2百万円となりました。これは、売上高の減少が大きく影響しております。引き続き独自開発の精密ステッピングモータや高信頼性ファンモータ等の新製品を投入し、積極的な拡大を図って参ります。

（モータ応用製品）

当社グループのモータ応用製品事業の売上高は、前年同期比7億4千7百万円減の22億8千7百万円となりました。これは、米国市場でのアイスメーカ等が減少したことによるものであります。営業利益は、前年同期比6千7百万円減の3千4百万円の損失となりました。この分野も更なる新製品の投入と新顧客の開拓を強力で推進する予定であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

連結貸借対照表の変動で、前連結会計年度末に比べ総資産の増加は、当第3四半期会計期間の売上高回復基調に伴う売掛金の増加等によるものであります。また、負債・純資産の部の増加は、買掛金の増加等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

長期化する大不況の中ではありますが、当社グループ一丸となり、前述いたしました「WPR™ プロジェクト」を着実に遂行し、体質改善に取り組んで参ります。

当期（平成22年3月期）の業績見通しにつきましては、連結売上高200億円、連結営業利益11億円、連結当期純利益8億円を見込んでおり、前回公表いたしました営業利益、経常利益、当期純利益の通期連結業績予想を上方修正いたします。

（注）WPR は、2008年に日本電産(株)の永守重信が自身の独自の経営手法に付した名称です。

WPR™ は、日本電産(株)の日本国における商標です。

WPR® 日本電産(株) 永守重信 2008年

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 1. 簡便な会計処理

## ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ③ 経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

## ④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

前第3四半期連結会計期間において、「有形固定資産」に含めて表示していた「建物及び構築物(純額)」については、金額的重要性が増加したため、当第3四半期連結会計期間より区分掲記することといたしました。

なお、前第3四半期連結会計期間の「有形固定資産」に含まれる「建物及び構築物(純額)」は1,858百万円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,711	2,763
受取手形及び売掛金	5,373	4,528
商品及び製品	1,995	1,972
仕掛品	558	642
原材料及び貯蔵品	872	619
繰延税金資産	371	367
未収入金	114	74
立替消費税	12	121
その他	72	46
貸倒引当金	△19	△22
流動資産合計	12,059	11,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,262	2,548
その他(純額)	3,032	4,153
有形固定資産合計	6,294	6,701
無形固定資産	125	124
投資その他の資産	228	233
固定資産合計	6,647	7,058
資産合計	18,706	18,168
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,552	2,521
短期借入金	2,751	2,929
未払金	610	517
未払法人税等	196	188
未払費用	359	597
賞与引当金	259	—
製品保証引当金	41	159
設備関係支払手形	—	350
その他	184	237
流動負債合計	7,952	7,498
固定負債		
退職給付引当金	1,846	1,944
その他	256	312
固定負債合計	2,102	2,256
負債合計	10,054	9,754
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,547	2,547
資本剰余金	3,614	3,614
利益剰余金	3,264	2,802
自己株式	△89	△86
株主資本合計	9,336	8,877
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	22	20
為替換算調整勘定	△706	△483
評価・換算差額等合計	△684	△463
純資産合計	8,652	8,414
負債純資産合計	18,706	18,168

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	20,915	14,671
売上原価	16,082	11,153
売上総利益	4,833	3,518
販売費及び一般管理費	3,591	2,746
営業利益	1,242	772
営業外収益		
受取利息	12	1
受取配当金	7	4
為替差益	164	93
材料作業屑処分益	74	—
負ののれん償却額	22	—
助成金収入	—	32
その他	59	50
営業外収益合計	338	180
営業外費用		
支払利息	58	23
固定資産処分損	27	8
たな卸資産処分損	85	67
売上割引	18	3
その他	19	37
営業外費用合計	207	138
経常利益	1,373	814
特別利益		
過年度特許料戻入額	—	10
製品保証引当金戻入額	—	55
投資有価証券売却益	—	9
特別利益合計	—	74
特別損失		
事業構造改善費用	23	—
固定資産売却損	—	2
減損損失	21	—
その他	5	—
特別損失合計	49	2
税金等調整前四半期純利益	1,324	886
法人税、住民税及び事業税	315	239
法人税等調整額	129	7
法人税等合計	444	246
四半期純利益	880	640

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	5,441	5,058
売上原価	4,299	3,683
売上総利益	1,142	1,375
販売費及び一般管理費	1,125	962
営業利益	17	413
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	4	2
為替差益	56	1
材料作業層処分益	11	—
助成金収入	—	2
その他	12	21
営業外収益合計	87	27
営業外費用		
支払利息	19	6
固定資産処分損	10	2
売上割引	5	1
その他	14	13
営業外費用合計	48	22
経常利益	56	418
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
減損損失	4	—
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	8	—
税金等調整前四半期純利益	48	427
法人税、住民税及び事業税	88	102
法人税等調整額	87	8
法人税等合計	175	110
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△127	317

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,324	886
減価償却費	727	781
減損損失	21	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△95	△98
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	20	△118
固定資産売却損益(△は益)	—	△2
固定資産処分損益(△は益)	27	8
為替差損益(△は益)	△177	△88
受取利息及び受取配当金	△19	△5
支払利息	58	23
売上債権の増減額(△は増加)	907	△1,028
たな卸資産の増減額(△は増加)	△472	△244
仕入債務の増減額(△は減少)	△909	837
その他	△185	175
小計	1,212	1,124
利息及び配当金の受取額	19	5
利息の支払額	△58	△23
法人税等の支払額	△81	△222
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092	884
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,720	△610
有形及び無形固定資産の売却による収入	7	15
投資有価証券の取得による支出	△10	—
投資有価証券の売却による収入	15	17
その他	△189	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,897	△578
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	691	△9
割賦債務の返済による支出	△166	△57
自己株式の取得による支出	△18	△3
配当金の支払額	△356	△178
財務活動によるキャッシュ・フロー	151	△247
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	△111
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△771	△52
現金及び現金同等物の期首残高	2,525	2,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,754	2,711

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	モータ事業 (百万円)	モータ 応用製品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,669	772	5,441	—	5,441
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,669	772	5,441	—	5,441
営業利益又は営業損失(△)	310	△26	284	(267)	17

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	モータ事業 (百万円)	モータ 応用製品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,369	689	5,058	—	5,058
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,369	689	5,058	—	5,058
営業利益	706	21	727	(314)	413

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	モータ事業 (百万円)	モータ 応用製品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	17,881	3,034	20,915	—	20,915
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,881	3,034	20,915	—	20,915
営業利益	2,156	33	2,189	(947)	1,242

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	モータ事業 (百万円)	モータ 応用製品事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	12,384	2,287	14,671	—	14,671
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,384	2,287	14,671	—	14,671
営業利益又は営業損失(△)	1,662	△34	1,628	(856)	772

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,423	1,018	—	5,441	—	5,441
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	683	2,660	71	3,414	(3,414)	—
計	5,106	3,678	71	8,855	(3,414)	5,441
営業利益又は営業損失(△)	△59	278	13	232	(215)	17

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,648	1,410	—	5,058	—	5,058
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,375	2,906	54	4,335	(4,335)	—
計	5,023	4,316	54	9,393	(4,335)	5,058
営業利益又は営業損失(△)	534	218	△1	751	(338)	413

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	17,351	3,564	—	20,915	—	20,915
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,406	12,057	240	14,703	(14,703)	—
計	19,757	15,621	240	35,618	(14,703)	20,915
営業利益	383	1,776	54	2,213	(971)	1,242

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,155	3,516	—	14,671	—	14,671
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,280	7,988	169	11,437	(11,437)	—
計	14,435	11,504	169	26,108	(11,437)	14,671
営業利益	1,257	395	14	1,666	(894)	772

## 【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	700	1,580	525	2,805
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	5,441
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.9	29.0	9.7	51.6

当第3四半期連結会計期間(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	571	1,725	485	2,781
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	5,058
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.3	34.1	9.6	55.0

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,646	6,310	2,021	10,977
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	20,915
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.6	30.2	9.7	52.5

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,025	5,078	1,261	8,364
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	14,671
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.8	34.6	8.6	57.0

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

6. その他の情報



平成 22 年 1 月 28 日  
日本電産サーボ株式会社

平成 22 年 3 月期 (第 75 期) 第 3 四半期連結決算概要

1. 連結業績の状況

(百万円未満四捨五入)

	当第3四半期 (累計) 自平成21年4月1日 至平成21年12月31日	前年 同期 増減率	前第3四半期 (累計) 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	当第3四半期 自平成21年10月1日 至平成21年12月31日	前年 同期 増減率	前第3四半期 自平成20年10月1日 至平成20年12月31日
売上高	百万円 14,671	% △29.9	百万円 20,915	百万円 5,058	% △7.0	百万円 5,441
営業利益	772 (5.3%)	△37.8	1,242 (5.9%)	413 (8.2%)	2,329.4	17 (0.3%)
経常利益	814 (5.5%)	△40.7	1,373 (6.6%)	418 (8.3%)	646.4	56 (1.0%)
四半期純利益	640 (4.4%)	△27.3	880 (4.2%)	317 (6.3%)	—	△127 (—)
1株当たり 四半期純利益	円 銭 18.02		円 銭 24.76	円 銭 8.92		円 銭 △3.57
潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	—		—	—		—

(注) ( ) 内は、対売上高比率

2. 連結財政状態

	当第3四半期末	前第3四半期末	前年度末
総資産	百万円 18,706	百万円 18,859	百万円 18,168
純資産	8,652	8,296	8,414
自己資本比率	% 46.3	% 44.0	% 46.3
1株当たり 純資産	円 銭 243.58	円 銭 233.49	円 銭 236.83
	当第3四半期 (累計)	前第3四半期 (累計)	前年度
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円 884	百万円 1,092	百万円 2,219
投資活動による キャッシュ・フロー	△578	△1,897	△2,421
財務活動による キャッシュ・フロー	△247	151	495
現金及 現期末 同残 び物 等 高	2,711	1,754	2,763

3. 配当の状況

	第2四半期末	期 末	年 間
21年3月期	円 銭 5.00	円 銭 2.50	円 銭 7.50
22年3月期	2.50		
22年3月期 (予想)		2.50	5.00

4. 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 9社 持分法適用会社数 1社

<前期末 (平成 21 年 3 月) 比の異動状況>

連結 (新規) 1社 (除外) 1社 持分法 (新規) 1社 (除外) 1社

<前年同期末 (平成 20 年 12 月) 比の異動状況>

連結 (新規) 1社 (除外) 1社 持分法 (新規) 1社 (除外) 1社